

科目コード	授業科目名	単位数・学期	受講年次	授業区分	担当教員名
14013 (14011) (14012)	芸術と風土 (芸術と風土A) (芸術と風土B)	2単位 前期	1~4	講義	栗国 恭子 (非)、小嶋 洋輔 (非)、新田 摂子、麻生 伸一

■テーマ 「風土」から地域・芸術を考える

■授業の概要

過去から現代までの人びとの生活や、祭祀・芸能、芸術活動を取りあげ、「風土」と人間社会との関係や結びつきについて概観します。芸術を志向する多様な学生が受講することに鑑み、複数の教員が担当となりそれぞれの専門分野に即した講義を行います。

前半では琉球・沖縄などの「風土」観について、後半には「風土」と表現（芸術活動）とのかかわりについて実習を交えながら学びます。

■到達目標

・「風土」と芸術を含む人類の営為の関係について、具体的かつ論理的に理解し、説明することができる

■授業計画・方法

複数の教員がオムニバス形式で行います。

1. ガイダンス／「風土」とはなにか（麻生伸一）
2. 民族芸術① 空間認識論—風土と聖なる空間、宇宙観、他界観、異界、空間認識とデザイン（栗国恭子）
3. 民族芸術② 沖縄の心意・美意識—風土と祈りの形、飛翔する<聖>、空飛ぶものと異界（栗国恭子）
4. 民族芸術③ 五感の文化—風土と香りの文化、香料とアジア・沖縄文化（丁子、ヤマクニブ、香）（栗国恭子）
5. 民族芸術④ 五感の文化—風土と色彩の文化、表象文化と色彩、技術と色彩（栗国恭子）
6. 芥川龍之介と遠藤周作—神と神神（小嶋洋輔）
7. 島尾敏雄—ヤポネシアと琉球弧について（小嶋洋輔）
8. 又吉栄喜—『豚の報い』と時代（小嶋洋輔）
9. 山之口獏—獏が描いた「沖縄」「琉球」（小嶋洋輔）
10. 「風土」からみる沖縄の染織文化（新田摂子）
11. 「風土」からみる芸術世界①：三線と琉球沖縄の風土（山内昌也・麻生伸一）
12. 「風土」からみる芸術世界②：三線実習（山内昌也・麻生伸一）
13. 「風土」からみる芸術世界③：三線実習（山内昌也・麻生伸一）
14. 「風土」からみる芸術世界④：三線実習まとめ（山内昌也・麻生伸一）
15. 有標・無標と芸術・文化／まとめ（麻生伸一） 定期試験は実施しない。

■履修上の留意点（授業以外の学習方法を含む）

・沖縄各地で行われている祭り、学内外で行われる舞台・演奏会などを見に行くこと。
行事、イベント等については講師がその都度紹介する。

■成績評価の方法・基準

- 方法 平常点（20%）、レポート（2回、合計80%）。平常点は講義への参加状況により総合的に判断する。
講義後にリアクションペーパーを課すこともある。
- 基準 到達目標を観点として、履修規程に定める「授業科目の成績評価基準」に則り評価する。

■教科書・参考文献（資料）等

□参考文献

和辻哲郎『風土—人間学的考察』（岩波書店、1979年）